

ハスの花は4日間の命



朝4～5時頃からは花弁がゆるみ始め、とっくり型に開いた後、全開せずに8時頃には閉じ始める。雄しべが花托に密着し、花粉はまだ放出されない。天候条件で開き方に大きな差がある。



深夜1時頃からゆるみだし朝7～9時頃に全開し、11時頃には閉じる。花の形と色が最も優美となり、雄しべが開き香りが強まる。雄しべの先が濡れ、花托は黄色みを帯びる。



2日目同様、朝9時頃に全開し、花径が最大となる。花色はややあせ、茎頃から閉じ始め完全には閉じない状態で終わる。花托の周囲が緑色を帯びてくる。



8時頃までに全開となり、花弁が少しずつ散り始め午後3時過ぎには完全に散る。花の退色が進み、花托上面は緑色が濃くなり、雄しべの先が黒ずんでくる。

オオガハスとは？

2000年前から存在したとされる蓮。昭和26年、千葉市花見川区にある現・東京大学検見川総合運動場で大賀一郎博士が発見し、この名がつきました。花弁数は14～24枚花径は15～28cm、一重咲き、花色は淡紅色、極早咲き性のハスです。

お勧めの観賞の時間は？

花の色、姿が最も優美なのは開花2日目で、7～9時頃に満開となります。11時頃には完全に閉じるので、なるべく早い時間（6時～9時）の観賞をお勧めです。なお開花や閉花の時間は日照や気温降雨等の気象条件によって変わります。

発行：千葉市都市局公園緑地部 緑政課 電話 043-245-5775

オオガハスの1年

4月中旬に浮き葉、5月上旬に立葉、5月下旬に蓋が水面に現れます。6月中旬～7月上旬が開花の最盛期です。8月末頃には花が終わり、11月に立葉が枯れます。12月に葉を刈り取り、翌春3月中旬頃に蓮根を掘りあげて植え替えます。
※生育場所により若干異なります。

花が終わった後の果托は？

千葉公園のハス池では、オオガハスの純粋な種を保存するため、ハスの根による栄養繁殖のみを行っています。他のハスと交雑した種子で繁殖することがないように、実が完熟して落す前に果托を刈り取っています。

**千葉市の花
オオガハス**

平成5年（1993年）千葉市が政令指定都市に移行したことなどを記念し、「市の花」に制定されました。

オオガハス案内マップ

①しらさぎ公園

花見川区役所の側にあり、「しらさぎ」のモニュメントが高くそびえています。こちらのバス池のオオガハスは6月下旬～7月上旬に見ごろを迎えます。

※公園に駐車場はありません

- 〒262-0026 千葉市花見川区瑞穂2丁目4
- JR総武線新鶴見駅から京成バス（花見川区役所前行き）終点（花見川区役所）下車 徒歩約4分



②東京大学検見川総合運動場 東京大学旧緑地植物実験所

昭和26年大賀一郎博士はこの地でオオガハスを見ました。以来、この地は東京大学緑地植物実験所として日本の花ハス研究の中心を担いましたが、平成24年からハス文化の継承と普及を目的して結成された「大賀ハスふるさとの会」に見本園の管理を引き継いでいます。毎年7月中旬に「花開ハス祭り競走会」を開催しています。

※花開ハス祭り競走会開催時のみ一般開放しています

- 〒262-0018 千葉市花見川区畠町1051

- JR総武線新鶴見駅から京成バス（花見川区役所前行き）区役所入口下車徒歩約2分



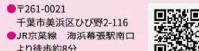
③幕張海浜公園 見浜園

千葉県立幕張海浜公園内、日本庭園「見浜園」の1画でもオオガハスが観賞できます。

こちらは例年7月下旬～8月上旬が見ごろです。他の場所に比べると少し遅めに開花するため、6・7月に見逃してしまった場合はこちらへお越しください。

※見浜園内8:00～17:00有料（臨時休業有）

- 〒261-0021 千葉市美浜区ひび野2-116
- JR京葉線 海浜幕張駅南口より徒歩約8分



④富田さとにわ耕園

4月のシバザクラ10月のコスモスで知られるこちらでは、7月上旬～下旬にかけてオオガハスが見ごろを迎えます。畑や牧場に隣接し、農業体験教室なども行われています。

※管理事務所側の原田池内に観賞可能
管理事務所は月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始定休

- 〒265-0041 千葉市若葉区富田町711-1

- 千葉都市モノレール 千城台駅下車 おまごばで「富田新田」下車、またはさしなひで「富田町」下車 徒歩約10分



⑤千葉公園 ハス池・蓮華亭



千葉公園HP ハスの情報館



※公園に駐車場はありません

- 〒260-0045 千葉市中央区弁天3丁目1-1
- JR千葉駅 千葉公園口又は北口から徒歩約10分
千葉都市モノレール 千葉公園駅下車 徒歩約2分

